

取扱い説明書（電気編）

1、電気製品の正しい使い方

1) 電気製品に「ぬれ手」は禁物

- ・水にぬれた手で電気製品を触るのは、とても危険です。水仕事で忙しい時等ついうっかり、ぬれ手でプラグをコンセントに差し込んだりしがちです。必ず濡れた手で扱ってください。また、足下が濡れている場合は、一層感電しやすくなりますので、くれぐれもご注意ください。

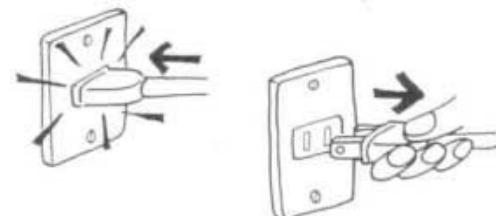
2) 感電防止にアースを！

- ・発電機・ライト・電化器具は万一感電事故防止のため、アースをしてください。ガスコンセントにアース線を接続するのは引火の恐れがありますので、絶対につながらないでください。



3) 不注意から起きる器具の加熱

- ・電気器具を一度にたくさん使い過ぎたり、コンセントやスイッチの接続が悪い場合、安全器やコードが熱くなることがあります。また、そのためにコードの被覆が溶けたり、燃えたりすることもありますので十分にご注意ください。
- ・安全器には15アンペアの正しいヒューズを使ってください。針金などを代用すると過度な電流が流れても電気が切れずに、異常過熱し火災の原因になりますので絶対にしないでください。
- ・一般のコンセントは1口で約15アンペアの電気が使えます。テーブルタップでタコ足配線して同時に何台もの器具を使用しますと、コードが過熱して火災の原因にもなりますのでお止めください。
- ・プラグとコンセントの接続が不完全ですと、外れたり発熱の原因になりますので、プラグはコンセントにしっかり差し込みましょう。
- ・器具の故障の多くは、コードの接続不良やプラグのネジのゆるみが原因です。プラグを抜く時にコードを引っ張ったり、コードをステーブル（U型の金具）で固定したり、束ねて使用することは大変危険ですのでお止めください。



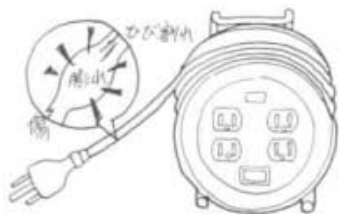
1、電ドラムの正しい使い方

1) 安全な使用方法

- ・コードリールはコードを巻いたまま使用すると、発熱する恐れがありますので、全部引き出して使用しましょう。

2) コードの点検

- ・電線の外観を見る。
- ・電線の表面が平滑で、気傷・膨れ・ひび割れがないこと。



3) 部品の点検

- ・電気部品に欠け、変形・脱落がないこと。
- ・電気部品の取付が良好で、内部に陥没等していないこと。

